



防衛隊幹部集合教育計画

第一方針
防衛隊中堅幹部ニ對シ決戰教育ヲ実施シ軍隊指揮ノ
神髓ヲ會得セシメ卒先先頭ニ立テ隊員ヲ誘掖指導シ得ル
教育技能ヲ附與スルト共ニ國頭北地区ヲ團結ヲ鞏固ナラシム

第二期實施要領

一期間
自三月一日間
至三月七日

二場所

一 羽地村稻嶺校

二 教育隊ノ編成

教官 竹中少尉
助教 松田伍長
隊附庶務 玉城兵長

被教育者 各町村防衛隊幹部ヲ以各町村每一ヶ班
ヲ編成ス

四 教育資材ハ護郷隊ニ於テ準備(細部ハ直接指示ス)

五 給養ハ各分會負擔トシ合同炊事ニ依ル

六 宿泊ハ稻嶺校トシ設備ハ隊ニテ準備ス但シ遠距離ニテハ

二十八日夕宿泊セントスル者ハ予メ電話連絡ヲナスヲ要ス

別紙 教育(行事)順次予定表

日	前		後		時
	前	後	前	後	
1/3	集合訓示 (稻嶺校)	2.00	基 本 各 個 教 練	2.00	歩 哨 配 置 (位 置)
2	金 槍 術	2.00	連 絡 法 (傳 令 教 育 法)	2.00	報 告 要 点 於 候 中 勤 務 綜 合 演 習 (遊 重 兵 候 持 覽)
3	精 神 訓 話 御 勅 諭 國 體 本 義	1.30	學 科 秘 密 連 絡	1.30	陣 中 勤 務 綜 合 演 習 (準 備)
4	護 衛 隊 戰 射 專 實 爆	見 學	研 究 懇 談	4.00	同 上
5	精 神 訓 話 在 鄉 軍 人 持 上 民 指 導 根 本 概 念	1.00	學 科 防 謀 積 極 防 謀 民 艦 防 謀	2.00	予 備
6	學 科 情 報 收 集 要 領 監 視 哨 配 置 連 絡 法	3.00	築 城 防 衛 隊 陣 地 編 成	1.00	同 上
7	精 神 訓 話 水 銃 師 道	1.30	研 究 會 食 懇 談	1.30	同 上
備	槍 術 體 操 八 業 周 刊 利 用 心 教 育 法 指 導 等	1.30	書 食 時	1.30	同 上
		1.00		2.00	

工
役
要
問
時

第三教育(行事)順次予定表

日曜	前		後		時
	時	分	時	分	
1/3	木	集合訓示 (稻嶺校)	基 本	各 個 教 練	2.00
2	金	槍 術	連 絡 法 (傳令 教育法)	報 告 (遊惠 午後持質)	3.00
3	土	精神訓話 御勅諭 國體主義	學 科 秘密連絡	陣中勤務 綜合演習 (準備)	2.00
4	日	護 衛 隊 實 爆	見 學	研究懇 談	2.00
5	月	精神訓話 在鄉軍人 維持上民指 導根本概念	學 科 防 謀 積極防謀 民(敵防謀)	予 備 伏 撃 戰力化	1.30
6	火	學 科 情報收 監視 連絡	集 要 領 哨 配置 法	築 城 防 衛 隊 陣地編成	1.00
7	水	精神訓話 銃師道	研 究	會 食 懇 談	1.30
考 備	槍術 体操 八業 向 7 利用 心 教育 法 7 指導 不				

精神隊指導員
精神隊指導員
精神隊指導員

第	日	行	順	次	定	表
第	日	行	順	次	定	表
第	日	行	順	次	定	表
第	日	行	順	次	定	表
第	日	行	順	次	定	表
第	日	行	順	次	定	表
第	日	行	順	次	定	表
第	日	行	順	次	定	表
第	日	行	順	次	定	表
第	日	行	順	次	定	表

別紙

一 防衛隊指導課目

1. 精神要素、涵養

2. 基本各個教練

3. 連絡法(傳令、視号、秘密)

4. 歩哨(特對海空監視)

5. 午候(潜入)

6. 遊撃戦斗

7. 銃槍術

8. 兵器(敵産兵器、利用法)

防衛隊指導守区分表

防衛隊名	基準訓練日	指導官	指導官附
名護町防衛隊	5 15 25	菅江少尉	津本(憲)伍長
上照屋	8 18 28	菅江少尉	宮城(良)伍長
大軍	8 18 28	竹中少尉	徳村兵長
東村防衛隊	10 20 30	油平少尉	首藤軍曹
太宜味村防衛隊	10 20 30	竹中少尉	松田伍長
國頭村防衛隊	10 20 30	菅江少尉	金城(前)軍曹

村副官

上照屋

大軍

東村

太宜味村

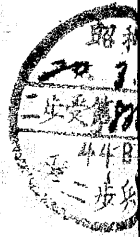
國頭村

者 帶 連	官 副	長 隊

號作命第三四号

第一護郷隊命令

二二四、六、八、九、部



一 第一護郷隊ハ基地作業隊及各地區作業隊ノ一部

ヲ以テ彈藥糧秣ヲ秘設倉庫搬入ヲ實施セントス

二 照屋軍曹ハ各輸送班ヲ指揮シ現保有糧秣ヲ基

地倉庫搬入スニシ

三 比嘉伍長ハ彈藥ヲ逐次補給ヲ合ムヲ防濕ヲ完全ナラシム

タル後主力基地彈藥庫ニ一部ヲ各前地彈藥庫

格納スニシ

四 第二中隊爾今一部ヲ以テ臨時輜重班ヲ編成シ照

屋軍曹ヲ指揮スルヲ任ズ

五 近日中ニ名護津頭ニ揚陸セラル予備糧秣落基基地搬
 入ニ当リテハ各地ニ作業隊ヨリ兵ニ教育隊ヨリ兵
 一ツツ及在地方現有馬車ヲ徵發シ即刻搬入格納
 實施シ得ル如ク準備スニシ
 六 細部ニ関シテハ隊次現地ニテ指示ス
 七 予ハ谷女岳隊本部ニ在リ

第一護郷隊長

村上大尉

下達法 要旨下達津仰刷交付

下達法 要旨下達津仰刷交付
 報告先 國支

平作命第二十一號

平山 隊 命令

三月六日一八〇〇

一 近ク在郷軍人防衛召集員若干名當隊ニ配屬セラルル予定ナリ

二 中隊ハ右兵力ヲ以テ警備小隊(假稱)ヲ編成シ戦力ヲ増強セントス

三 土山曹長ハ警備小隊長(假稱)トナリ其ノ監督教育指導ニ任ズベシ

四 各小隊ヨリ警備小隊ノ編成並教育基幹人員トシテ兵長又ハ上等兵各一名ヲ差出スベシ

五 石原伍長ハ警備小隊一級庶務ニ任ズベシ

隊長 平山大尉

下達法 下士官以上ヲ集メ口達

報告先 支隊本部

支	隊	部
支	隊	部
支	隊	部



陸軍